

議会だより

おかがぎ

No.141 9月定例会
令和5年10月25日発行

8年ぶりにウミガメが上陸



平成18年上陸時の写真



⇨ ウミガメが帰ってきた跡 ⇨

- 2～4ページ 令和4年度 一般会計決算などを認定
- 9～12ページ 町政を問う
- 14ページ ちいきのちから 岡垣ウミガメ倶楽部

122 億円はどう使われた

気になる事業をチェック👀

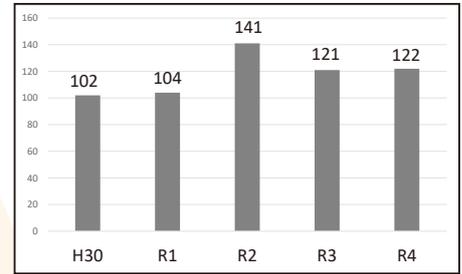
学校給食食材



Q 学校給食において、食材発注時に県産食材、近隣自治体の食材を使用する目標は 30% であるのに対し、実績は 36.2% であった。今後は、地元の食材を増やすためどのように考えているか。

A 現在、食材を調達する時に JA などに食材を確保して頂いている。今後は、より一層地元食材納入業者と連携していく。

5年間の決算額推移(単位/億円)

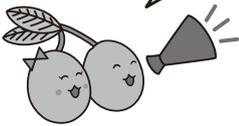


天候不良等の影響を受け、食材の確保が難しい時期があったんだよ



レンタサイクル

ヘルメットを着用すれば、致死率が約 1/4 に減少するよ (福岡県警察)



Q 令和 4 年度のレンタサイクル利用者数は 5351 人であったが、令和 5 年度の利用者数はどのような状況か。また、今年 4 月からヘルメットの着用が努力義務になったが、ヘルメットを着用している利用者はどのくらいいるのか。

A 令和 5 年度のレンタサイクル利用者数は 8 月末で 2574 人と前年同月の 2759 人に比べ若干減少している。また、レンタサイクル利用者のヘルメット着用率は 5% ~ 10% である。今後もヘルメットの被り方なども含めて、利用者へヘルメットの着用を勧めていく。

有害鳥獣対策



見通しがよくなるよう整備した

Q 令和 4 年度のイノシシ捕獲数は 418 頭だが、令和 3 年度と比較してどのようになっているのか。また、令和 4 年度から野生動物と人のすみ分けをするため、木や草が生い茂っている場所を見通しがよくなるように、野生動物緩衝林整備事業を行っているが、令和 5 年度の進捗状況はどうか。

A 令和 4 年度のイノシシの捕獲数は令和 3 年度と比較して 38 頭減少した。野生動物緩衝林整備事業は令和 5 年度は令和 4 年度の倍の 2.4ha を予定している。戸切地区と上畑地区を予定しており、今後農業組合長と協議して実施場所を決める。

野生動物緩衝林整備事業を実施してイノシシ等による被害が減ったよ

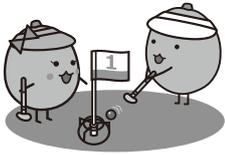


令和4年度 決算 認定

令和4年度岡垣町決算は、収入額129億9548万6561円、支出額122億5482万3758円となり、過去2番目の規模となりました。

一般会計支出総額

コミュニティパーク制度が導入された公園では、ボール遊びなどができるようになったよ



就農支援



- Q** 認定農業者が運営・管理している農地は町からの補助がある。しかし、先祖代々の土地を守っている兼業農家には町からの補助が対象外である。兼業農家への補助を考えるべきではないか。
- A** 兼業農家については、就農時間などの条件があるので、なかなか難しい。制度的なものについては、今後全体をとおして適切に検証していく。

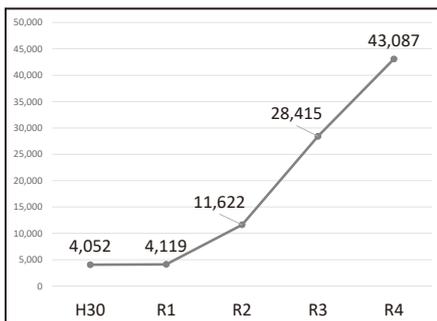
公園管理



- Q** これまでの公園管理委託を見直し、地域が主体性をもって地域の公園を管理・利用するコミュニティパーク制度の導入を令和4年度から行ったが、どの公園で導入されたのか。また、今後はこの制度を周知すべきではないか。
- A** 野間と松ヶ台の公園に導入した。今後は、公園の相談を受ける中で、この制度を広く知らせていく。

おかがき応援寄附金 (ふるさと納税)

おかがき応援寄附金は増加
(単位 / 万円)



(令和4年度は一般寄附金含む)



- Q** 令和4年度の応援寄附金額は4億1800万円であった。本年10月から制度が変わるが、町にどのような影響があるのか。
- A** 10月の制度改正でふるさと納税にかかった全ての経費を含んで寄附金額の5割以下とする必要がある。このため、10月からは現在の設定寄附金額の見直しを行う。

令和4年度各会計決算概要

水道事業



- Q** 令和3年度と比較して有収率が減少していると思うが、有収率を上げるための取組はどのようにしているのか。
- A** 老朽管が増えている状況から漏水が発生し、有収率が下がっている。令和5年度に老朽管の更新計画を立てるようにしているので、それに合わせて進めていきたい。また、今年度から全町域で漏水調査を行っている。

下水道事業



- Q** 令和2年度から旭台で老朽化した下水道コンクリート管の更生工事を行っているが、全体的に何割くらい進んだか。
- A** 現時点で対応が必要な管路の5割程度が完了している。今後も旭台や旭南で更生工事を進めていく。

会計別決算

区分		収入額	支出額	差引額
一般会計		129億9548万6561円	122億5482万3758円	7億4066万2803円
特別会計	国民健康保険事業	34億3494万8510円	31億142万8738円	3億3351万9772円
	後期高齢者医療	6億2602万6781円	6億259万1943円	2343万4838円
公営企業会計	水道事業	収益的収支	5億3865万3278円	6943万305円
		資本的収支	3億7320万5255円	—
	下水道事業	収益的収支	8億7469万9382円	809万3615円
		資本的収支	4億9939万3929円	—

※公営企業会計は税込みの金額です。資本的収支の不足分は、公営企業の内部留保資金で補っています。

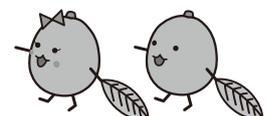
監査意見 3つのPoint

① 予算の目的に沿った執行がなされており、計数についても誤りはなく正確である。

② 注目すべき点は、単年度で見ると、令和元年度まで減少が続いていた基金残高は、決算剰余やおかがき応援寄附金の積立を行うことで、8.5%増加し、さらに地方債の現在高は5.6%減少したこと。

③ 限られた財源の中で町民生活に必要な行政サービスを安定して供給するため、より効率的、効果的な事業展開を要望する。

監査委員は町と議会から1人ずつ選ばれているよ





令和5年度一般会計補正予算

海老津駅北側トイレ改修 780万円

完成イメージ



予算時は1440万円が計上されていましたが、改修工事をする面積が増えたため、780万円を増額。

- Q 工事期間はどうなっているのか。また、工事期間中はトイレが使用できないと思うが対策は考えているのか。
- A 工事は11月に着工して2月末に完成する予定である。工事期間中は、仮設トイレを設置する。
- Q どのようなトイレになるのか。また、バリアフリーなど考えているのか。
- A ゆったりとした空間のトイレにする予定で、子育て世代が使いやすいように、ベビーカーごと利用できる個室を考えている。

大雨による災害復旧 2340万円

7月の大雨による災害復旧工事費



- Q 7月の大雨による災害復旧費が計上されているが、どの地域でどのような災害が起こったのか。
- A 元松原、上高倉、三吉、湯川、内浦、波津などで水路に土砂が堆積したり、林道のり面が崩壊するなどした。

町道の改修 2000万円

道路の白線の引き直しや防護柵を設置



- Q 2000万円を計上しているが、補正に至った理由は何か。
- A 通学路の安全や事故の未然防止は道路利用者が安心して使ってもらうことが前提となるので、道路の保全が遅れ気味の所を補正に計上した。
- Q 改修はあらかじめ調査を行っている所が対象となるのか。また、どのような改修を行うのか。
- A あらかじめ、悪い所は区長などからの要望もあり把握しているので、そこを中心に区画線や防護柵の設置など安全対策に努めていく。

令和4年度 岡垣町一般会計歳入歳出決算認定について

反対

マイナンバー制度の見直しを

ひらやま まさのり
平山 正法 議員

昨年12月定例会の一般質問で、全戸に配布している環境家計簿にQRコードをつけ、データ送信ができるように改善すべきだと求めた。その結果、令和4年度中に改善されたことは評価する。

政府はマイナンバー保険証を国民に強要するため、来年の秋に今の保険証を廃止しようとしているが、全国でトラブルが続いている。今こそマイナンバー制度を利用した計画を見直すべきであり、デジタル化やIT利用を推進するうえで、個人情報保護など国民が安心して利用できるようにすべきである。
マイナンバー制度に反対しているため、本議案は反対する。

賛成

積極的な取組を強く求める

ひろわたり てるお
広渡 輝男 議員

実質単年度収支は約1300万円の赤字で、今後の財政運営は厳しいものがある。

歳出では昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した、全世界帯を対象に町民の生活に直結する水道料金の6か月間の無償化をはじめ、きめ細かくタイムリーに取り組まれ評価する。令和4年度の経常収支比率は91.6%と、前年度と比べて5.4ポイント上昇し、財政構造の硬直化が懸念される。

今後、自主財源の確保へ向けて海老津駅周辺の再開発や未利用地を活用する立地適正化計画に基づき、積極的な取組を強く求めて賛成する。

自主財源確保の取組を

よこやま たかこ
横山 貴子 議員

実質収支額は、昨年度に続き黒字決算となり、全額を令和5年度に繰り越すこととされている。経常収支比率は、前年度より5.4ポイント上昇ではあるが、財政調整基金からの繰入れを行うことなく、財源調整されている。また、自主財源の比率も、昨年度に引き続き改善されている。

持続可能なまちづくりの実現に向け、事務事業の見直し等、意識をもって取り組んだ結果であると評価する。
今後、財政基盤安定に向け、自主財源確保の取組と、住民福祉の増進、将来にわたって発展性を期待できるまちづくりを全力で取り組むことを要望し賛成する。

財政の安定を評価

かわち けいすけ
川地 啓輔 議員

過去2番目の規模の決算だが、財政調整基金からの繰入れを行うことなく財源調整できた。基金残高も約4億2000万円増と3年連続して増加し、町の財政は安定している。その要因はおかがき応援寄附金が前年比約1億3000万円増の約4億1000万円になったことだが、これは新たににおかがきPR課を設置しブランド戦略を策定したことが功を奏したと考える。

新型コロナウイルス感染症と物価高騰対策で難しい舵取りの一年だったと想像するが、町独自の水道料金減額や、地場事業者への支援金給付なども評価して賛成する。



産後ケア事業に期待

あさと まさえ
安里 雅恵 議員

お母さんの心の疲れ、不安や心配をすこしでもやわらげ、ゆつくり休んで元気を取り戻すための産後ケア事業は大きな役割を担っている。

令和4年度の決算報告では19人の利用実績にとどまった。これは、利用前にその都度、役場の担当窓口で利用登録の申請が必要だったためである。令和5年度からは窓口で最初の利用登録の申請をしたら、あとは利用施設に町から発行された産後ケアパスポートの番号を伝えることで手続きができるよう利用方法を変更した。その対応はとても評価するので賛成する。

町長の取組を高く評価

かんざき のりあき
神崎 宣昭 議員

長期化する新型コロナウイルス感染症や、ロシアのウクライナ侵攻で原油価格、物価の高騰で住民生活や地域経済に大きな影響が及んだ。感染症対策や物価高騰対策は迅速、確実に取り組まれ住民や事業者に寄り添った政策をとられた。基金残高を減らさず

に地方債残高を増やさないという目標を達成された。特筆すべきは、某住宅メーカーアソシエイトで福岡県内で住み続けたい街ランキング第1位、街の幸福度ランキング第2位になれたことは、町長が日頃から取り組まれてきた成果である。高く評価して賛成する。

持続可能なまちづくりを

おおた つよし
太田 強 議員

実質単年度収支は、約1300万円の赤字となったが、財政調整基金から繰入れを行うことなく財源調整ができて

いる。基金繰入額は、約9億円。大きな要因はおかがき応援寄附金の大幅増である。町長は、常日頃から持続可能なまちづくりを目指し、基金残高の維持と地方債残高を増やさないことを念頭に町政運営を行うと述べられた。今後物価高の影響や少子高齢化への対応に伴う社会保障関係費の増加で財政面での厳しさが予想されるが、持続可能なまちづくりを進められることを期待して賛成する。

効率的で効果的に

みすみ よしひこ
三角 善彦 議員

町の魅力の情報発信は、質・量ともに格段に増え、メディアへの露出も増えた。引き続き、関係人口を増やし、定住促進につながる取組を求め

る。人口構造が逆ピラミッド型の日本は、社会保障の分野など、支え合う制度が成り立たない曲がり角を迎えており、その備えが必要と考える。市区町村は、直接住民と接する機会が多いことから、限られた予算の中で住民ニーズを見極め、優先度合いに応じた事業の選択が求められる。岡垣町の行財政が、引き続き効率的で効果的に運営されることを求め賛成する。

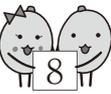
次回定例会は
12月8日（金）
開会の予定です

傍聴または議会中継どうぞ



住民懇談会を
実施しました

詳しくは1月25日発行の議会だより142号で報告します。



議決の状況について

議員の賛成○・反対●・除斥除・退席退・欠席欠

議案等号数	内 容 *文言は一部、議案の正式名称ではなく分かりやすく表記しています	採決日	議席番号 結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
				三角善彦	細山田修	安里雅恵	三隈千恵子	廣渡裕次	川地啓輔	谷口貴之	横山貴子	平山正法	神崎宣昭	太田強	広渡輝男
議案 56	岡垣町固定資産評価審査委員の選任への同意（鈴木氏）	9/8	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 57	地域交流センターを令和5年度末で廃止する条例改正です	9/22	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 58	岡垣町エンゼルプラン推進協議会を廃止し、岡垣町こども政策推進協議会を設置するための条例改正です	9/22	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 59	岡垣サンリーアイに文化財展示室を設置するため、会議室の再編成を行う条例改正です	9/22	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 60	令和5年度 岡垣町一般会計補正予算（第4号）	9/22	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 61	令和4年度 岡垣町一般会計歳入歳出決算認定について	9/22	賛成多数認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
議案 62	令和4年度 岡垣町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	9/22	賛成多数認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
議案 63	令和4年度 岡垣町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	9/22	賛成多数認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
議案 64	令和4年度 岡垣町水道事業会計利益の処分及び決算認定について	9/22	可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 65	令和4年度 岡垣町下水道事業会計利益の処分及び決算認定について	9/22	可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 66	岡垣サンリーアイウエーブアリーナ床改修工事請負契約について	9/8	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 67	監査委員の選任への同意（久保田氏）	9/22	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

これらの議案のほか、2件の報告を受けました。

- ・令和4年度決算に基づく健全化判断比率等の報告について
- ・令和4年度 公益財団法人岡垣サンリーアイ文化スポーツ振興財団決算報告について

※議長は地方自治法の規定により議決には加わりません。

議会の動き

前定例会終了後の本会議・委員会・協議会等についてお知らせします。

日時	委員会等	議題等	日時	委員会等	議題等
7月11日	その他	福岡県芦屋町議会視察受入れ	8月18日	研修会	議運・常任委員長・副委員長研修
7月18日	議会広報（協）	住民懇談会協議	8月25日	議会運営	第3回定例会運営
7月24日	議会広報（協）	住民懇談会協議	9月 8日 ～ 22日	第3回定例会 (15日間)	本会議・一般質問・委員会・ 全員協議会
8月 1日	総務産業（協）	行政視察研修協議	10月 2日	議会広報	議会だより編集・住民懇談会協議
8月 7日	議会広報（協）	住民懇談会協議	10月 5日	住民懇談会	岡垣町の公共交通について
8月10日	全員協議会	住民懇談会協議	10月 6日	議会広報	議会だより編集・住民懇談会協議
8月17日	研修会	町村議会1期目議員等研修会			



町政を問う

一般質問は町民を代表し、

町長・教育長などに

町の方針や施策を問います。

ページ	議員氏名	内 容
10	太田 強	1. 西部地域活性化について
10	平山 正法	1. 介護保険制度について ◇2. 高齢者福祉について
11	細山田 修	◇1. 岡垣町立地適正化計画について 2. 児童生徒の学力向上について
11	安里 雅恵	1. 高齢者が住み慣れた場所で穏やかに暮らすために
12	三隈千恵子	1. 小中学校、保育所・幼稚園などの給食について
12	広渡 輝男	1. 活力ある岡垣町の形成に向けて

◇はこの議会だよりに掲載できなかった質問です



議会のHPから録画データを視聴できます



おた 太田 議員

議員

西部地域活性化について

町長

観光協会と連携して取組を進める

太田 〓ここ数年のコロナ禍で、観光事業も厳しい状況の中にありながらも、西部地域に於いては「岡垣の美しい水」を活用して「ワイン工場」、「クラフトビール工場」、「酒蔵」ができ、近隣にない名所ができました。岡垣を訪れた観光客が3工場をぐるりと回る仕掛け、また海老津駅から直接行ける移動手段が必要ではないでしょうか。

町長 〓「岡垣の美しい水」は町の極めて重要な資源の一つであり、地下水が涵養される自然環境とあわせて積極的にPRしていきたいです。本年度は地下水のペットボトルを作成し、町外での企業誘致活動や観光・移住のイベント、視察などで町を訪れた人に配布しPRしていきます。また、海老津駅からの移動手段については、観光事業者がイベント開催時にシャトルバスを出したり、観光事業者と旅行会社がタイアップしてバスツアーを実施するなどしてありますが、イベント開催時以外の移動手段については様々な課題があるため、今後研究していきます。

太田 〓昨年末から本年にかけて、岡

垣町は、観光庁の補助事業である「地域一体となった高付加価値化事業」に採択され、波津海岸地域の旅館や飲食店、観光施設が改装されました。観光客に宿泊して岡垣でゆっくりくつろいでいただくための滞留策を考えたいかがですか。

町長 〓観光客の滞在時間の長時間化は、「中西部地域活性化構想」において町の観光施策における重要課題の一つと位置づけています。観光事業者の施設改修で宿泊の観光客も増えていると聞いています。今後は民間事業者や観光協会と十分連携をとり滞在時間の長時間化に取組を進めていきます。



ひらやま 平山 議員

議員

介護保険制度の今後は

町長

持続可能性を確保していく

平山 〓岡垣町では総合事業が平成28年4月からスタートし、7年目になります。総合事業は、介護予防・生活支援サービス事業と一般介護予防事業に分けられます。

介護予防は非常に大切なことではありますが、どのような課題があり、今後はどのように取り組んでいくのですか。

町長 〓岡垣町の総合事業は、国が示す18事業のうち、本年4月時点で14事業に取り組んでいます。主な課題は、介護人材の確保や運営スタッフの高齢化などにより事業の継続が難しいこと、介護予防が必要な方の参加が伸びないことです。

そのため、町では介護人材を育成するための講習会などの開催や活動団体の支援や福祉ボランティアなどの人材育成、介護予防への参加をさまざまな機会を通じて働きかけていきたいと思っています。

平山 〓岡垣町では、令和3年3月に第9期高齢者福祉計画を策定し、この計画に基づいて高齢者福祉事業を実施しています。この計画は本年度が最終年

となりますが、課題をどう認識していますか。

町長 〓超高齢化社会の進展、社会保障費の増大、ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者の増加が大きな課題であると認識しています。これらの課題に対応するために、高齢者の自立支援と要介護状態の重度化防止、地域共生社会の実現を図るとともに、介護保険制度の持続可能性を確保していきます。



グラウンドゴルフで健康づくり



ほそやま だひこ 議員
細山田 達彦

議員

児童生徒の学力向上について

教育長

楽しく学べる授業づくりが核

細山田 7月末に文科省が公表した本年度の全国学力・学習状況調査の本町の結果を教えてください。

教育長 本年度の町内小中学校の結果としては、小学校では、国語、算数ともに全国、県平均を上回っています。中学校では、国語は全国、県平均と同程度で、数学、英語は、全国、県平均を下回っています。小中学校ともに経年比較すると上昇傾向にあり、学力の定着が進んできていると感じています。

細山田 そして、分析したことをどのように学力向上に生かしていきますか。

教育長 つまずいている設問や項目、児童生徒の学習状況を分析し、学校組織全体で課題に対して授業改善を行うとともに、家庭学習や生活習慣などについて、保護者との連携を図っていきます。

また、より一層楽しく学べる授業づくりを核としながら、基礎的・基本的な知識・技能の定着や、思考力・判断力・表現力の育成を図ります。

細山田 中学校の英語教育の状況について、お伺いします。



教育長 定期的に民間会社が行う標準学力テストでは、県平均を上回っています。また、英検3級相当以上の割合も全体として上昇傾向となっていることや、「英語が好き」と答える生徒が、全国、県平均より多いことも、英語教育改革の取組の成果であると考えています。しかし、全国学力・学習状況調査からすると学力の定着・向上につながっていない面がみられます。今後は、調査結果の分析を踏まえ、学力の定着に向けた授業改善を行います。



あさと まさこ 議員
安里 雅恵

議員

認知症政策について

町長

認知症高齢者に優しい地域づくりを推進

安里 認知症サポーターを町はどのようにに応援者として支援の輪に加わっていただくとお考えですか。

町長 認知症サポーターは、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、当事者や家族を温かい目で見守る応援者とされています。地域で実施されている認知症カフェや見守りなどのボランティア活動を希望される受講者が活躍できる仕組みを検討していきたいと考えています。

安里 チームオレンジとは、認知症の方やその家族と認知症サポーターがチームを作り、認知症があってもなくても同じ地域で共に生きる「共生」の具体的な活動です。取組の検討は、どのように進められていますか。

町長 すでに特に支援が必要な方に対し、地域住民、民生委員、金融機関や事業者、高齢者相談センター、医療機関などと地域包括支援センターが連携して、支援を行っています。今後は、この活動がチームオレンジの要件に合うよう必要な準備を進めていきます。



オレンジカフェでのひととき

町長 認知症カフェが継続して運営できるといったような支援について検討を行っていきたくと考えています。

安里 学校での周知啓発はどうされていますか。

教育長 すでに実施している学校の認知症サポーター養成講座の内容や成果などを学校間で共有しながら、各学校の実情に応じた学習を進めていきたいと考えています。



みくま ちえこ 議員

議員

給食時の指導について

町長

今後も食育を進める

三隈 小中学校では、給食の残量調査などがあり、児童が食べ残した残量率を出しています。保育所や幼稚園などでは、食べ残しなど給食時の指導はどのように行っていますか。

町長 本町の保育所などでは、偏食がある子どもなど、個々の特性や状態に応じて、量の調整や食べることができたら褒めるなどの工夫を行いながら、無理なく望ましい食習慣を身につけることができるように指導が行われています。

三隈 小中学校の献立表を見ると、さまざまなメニューがあり、栄養バランスの配慮がされています。栄養バランスを整えるためには、献立が大切になってきます。献立作成についての考え方についてお尋ねします。

教育長 学校給食の献立については、食品構成と栄養価のバランスが取れるよう、摂取基準などに基づき年間の献立計画を作成します。栄養教諭や栄養士、調理員などで構成する献立検討会で毎月の献立について協議するほか、食材の価格や数量などの調整、手配、



指定された日に確実に納品されるなど、さまざまな条件を考慮しています。

三隈 昔に比べて、食物アレルギーのある子どもたちが増えている印象があります。食物アレルギーに該当する児童生徒への対応はどのようにされていますか。

教育長 食物アレルギーのある児童生徒が、体に適した食べ物を、自分に適した食べ方で食べることも大切だと考えており、教育委員会では、食物アレルギーの対応マニュアルを策定し、対応しています。



ひろはた ひろゆき 議員

議員

活力ある岡垣町の形成について

町長

早期実現に向け検討する

広渡 第6次総合計画の目指すべき将来像の「自然と共生する しあわせ実

感都市 岡垣」の実現に向けて、事業を促進する環境が整ってきたと思えます。海老津駅北側の周辺整備計画の推進や駅南側開発など、海老津駅周辺の活性化事業の進捗状況と今後の取組についてお尋ねします。

町長 JR海老津駅周辺整備計画は、国の補助事業を最大限活用し事業の早期実現に努めます。駅南側地域の開発については情報の収集に努め、事業の推進体制を含め中長期的な視点で検討していきます。

広渡 交通弱者などの外出を支援するため、きめ細やかなコミュニティバスの運行と乗り合いタクシーの拠点方式から、ドアからドア方式システムの取組についてお尋ねします。

町長 町内各地への移動について一定の利便性を確保した公共交通が必要と考えています。高齢者や自動車運転免許証を返納された方などの日常の移動を支えることも必要で、デマンド交通の運行エリアの拡充などの方法を検討

します。

広渡 「岡垣町中西部地域活性化構想」に基づき、町と観光協会と事業者の連携のもと、観光産業の促進を図るため、組織強化や関連した拠点の強化策についてお尋ねします。

町長 観光事業の推進には、観光協会事務局の体制の充実や、観光事業者との連携や効果的な情報の受発信などが重要と考え、その仕組みづくりを検討しています。観光事業の財政支援制度については慎重な検討が必要です。



研修を受けました

▼今後の議会活動に向けて

福岡県町村議会議長会1期目等議員等研修

8月17日、福岡県町村議会議長会の主催で1期目議員の研修会が福岡国際会議場で行われました。

議会運営と質問の基本的な考え方

研修内容は、議会運営と質問の基本的な考え方というテーマで、元全国都道府県議会議長会事務局次長の内田一夫氏が講演しました。

議会の構成や議会運営、発言をめぐる留意事項や質問と質疑の違いなどを学びました。6月定例会を終えた後の研修ということで、振り返りながら講演を聞くことができました。この研修を生かして、今後の活動に臨みたいですね。



▼オンライン研修

議会運営・常任委員会 委員長・副委員長研修

県町村議会議長会主催の委員長・副委員長研修会が8月18日福岡市の国際会議場で開催されました。

議会運営委員会委員長

太田 強

円滑な運営のための心得

演題は「委員会の進め方」で講師は、元全国都道府県議会議長会事務局次長の内田一夫氏です。

当議会は岡垣町役場第1委員会室にてオンラインで受講しました。初めての経験でしたが、大きな画面に講師の顔が大きく映し出され、会場の最前列に座っている感じでした。

内容は、

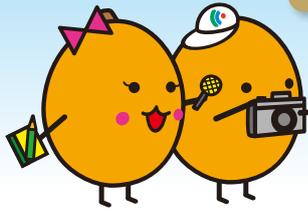
- 1 議会の構成
- 2 議会運営
- 3 委員会の役割
- 4 委員長の心得

など、講師の豊富な経験、体験を他の市町村の例を交えて話されました。特に「円滑な運営のための心得」は大変参考になり、今後の委員会運営に生かしたいと思えます。



びわりんびわすけの

ちいきのちから



団体紹介：第15回 岡垣ウミガメ倶楽部 「ウミガメさんは僕の教育者」

～追いかけてながら教えられる～

この企画は、岡垣町で頑張っている皆さんの活動内容、町や議会への要望などを取材しています。

平成4年、岡垣町にアカウミガメの上陸が初めて確認されて今年で20回目。平成5年にウミガメの調査を開始し、平成15年にウミガメ倶楽部を設立。15人の会員で、海岸調査や見守りをはじめ、海岸や河川の清掃活動にも参加しています。今年は平成27年以来、8年ぶりにウミガメの上陸を確認しました。



今から産卵調査



ウミガメについて
熱い思いを語る
3代目会長 みずま よしろう
水間 祥郎さん

★アカウミガメの生態★

カリフォルニアから黒潮の支流に乗って生まれ故郷の三里松原の浜に帰ってきます。

岡垣町に帰ってくるウミガメの種類は、絶滅危惧種に指定されている希少な「アカウミガメ」。

大潮、中潮の月夜の晩、潮が満ちてきた時に上陸し、産卵して引き潮に乗って海に帰ります。

子ガメは、卵の殻を破ってもすぐには砂の中から出てきません。砂の中で、他の卵から出てくる子ガメ達を待ちます。砂の中の温度を感じて、夜になるといっせいに体を擦り合わせ、少しずつ砂を下に落とし、砂の上に出ます。

産卵から約60日前後で、子ガメ達は一斉に大海原に旅立ちます。

Q 活動の内容を教えてください。

A アカウミガメがいつまでも産卵に帰ってこられるように海岸の環境を守るために活動しています。産卵時期には、毎日海岸を調査して産卵の有無を確認しています。産卵を確認した時には、自然にふ化して子ガメが海に帰っていくまで見守る活動も行っています。

Q 活動の楽しさはなんですか。

A アカウミガメの産卵を確認し、ふ化した子ガメが海へ旅立っていく様子を多くの人たちと見守ることにやりがいを感じます。そして、アカウミガメを通して命の大切さを子どもたちに伝えたいと思っています。

Q 町や議会への要望はありますか。

A いつでもアカウミガメが上陸できるよう、町の自然環境を守り続けたいです。産卵時期に流木が浜にたくさんある時は、撤去するために力を貸して欲しいです。

海岸を守り、ウミガメが好きなら誰でも入会できるよ(会費：年間2000円)
希望する人は岡垣ウミガメ倶楽部まで
TEL 090-1343-0455 (水間)



ウミガメの産卵・ふ化状況

